

最大限のサスペンション リフト/ 残りのサスペンション トラベルを決定します

サスペンション リフトの高さの上限は、残りのサスペンション トラベルに左右されます。道路交通ライセンス法 (StVZO) のセクション 21 またはセクション 19 (2) に基づく TÜV 登録の場合は、サスペンションのリフト後、残りのサスペンション トラベルが 4 cm 以上必要です。残りのサスペンション トラベルを守ることによって、サスペンション リフトを問題なく確実に実行できます。

サスペンション リフトを問題なく実行することで、ブレーキホース、ドライブシャフト、車軸、およびシャーシを、TÜV (TÜV ファクトシート 751、付録 II) による検査で許容範囲内に収めることができます。

正しい測定結果を得るためには必ず、圧縮状態で距離の測定を開始してください。
車両は事前にリフトしてはいけません (例: ホイスト)

サスペンション リフトの上限を決定する方法:

1. ホイールの中心に粘着テープで印を付け、マッドガードの端まで垂直に測定します。
2. 車両が停止している状態で、印をつけたホイールの中心と、その上のマッドガード (図 A) の端との間の垂直距離を測定し、値を書き留めます (注意: 車両の測定は常に、停止状態から開始し、次にリバウンド状態で測定してください。そうしないと、正しい測定結果が得られません)。
3. ジャッキまたはホイストを使用して車体を持ち上げます。
4. これで車両がリバウンドされ、車輪が地面から浮いた状態となります (図 B)。続いて、ホイールの中心とマッドガードの下端との間の距離を再度測定します。

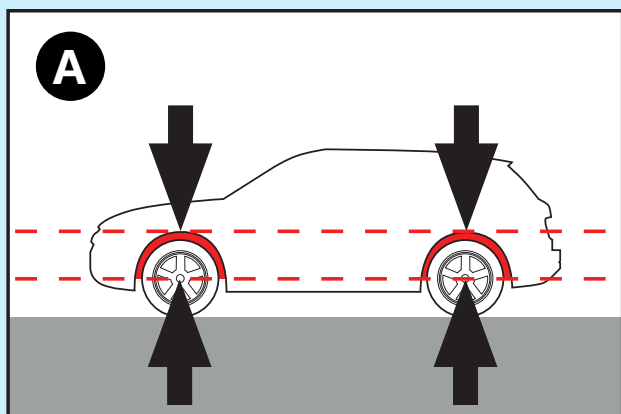


図 A、静止時の車両 (圧縮時)

測定点: マッドガードの中心とホイールの中心

【重要】この測定を実行する前に車両を持ち上げないでください。持ち上げてしまうと、正しい測定結果が得られません。

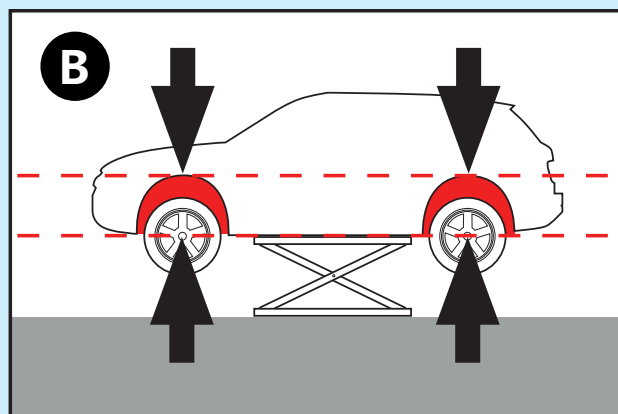


図 B、リバウンド状態の車両

測定点: マッドガードの中心とホイールの中心

例

リバウンド時の距離 (図 B)	- 49.0 cm
圧縮時の距離 (図 A)	- 39.0 cm
サスペンション トラベル	10.0 cm
最低限必要なサスペンション トラベル	- 4.0 cm
サスペンション リフト上限	= 6.0 cm

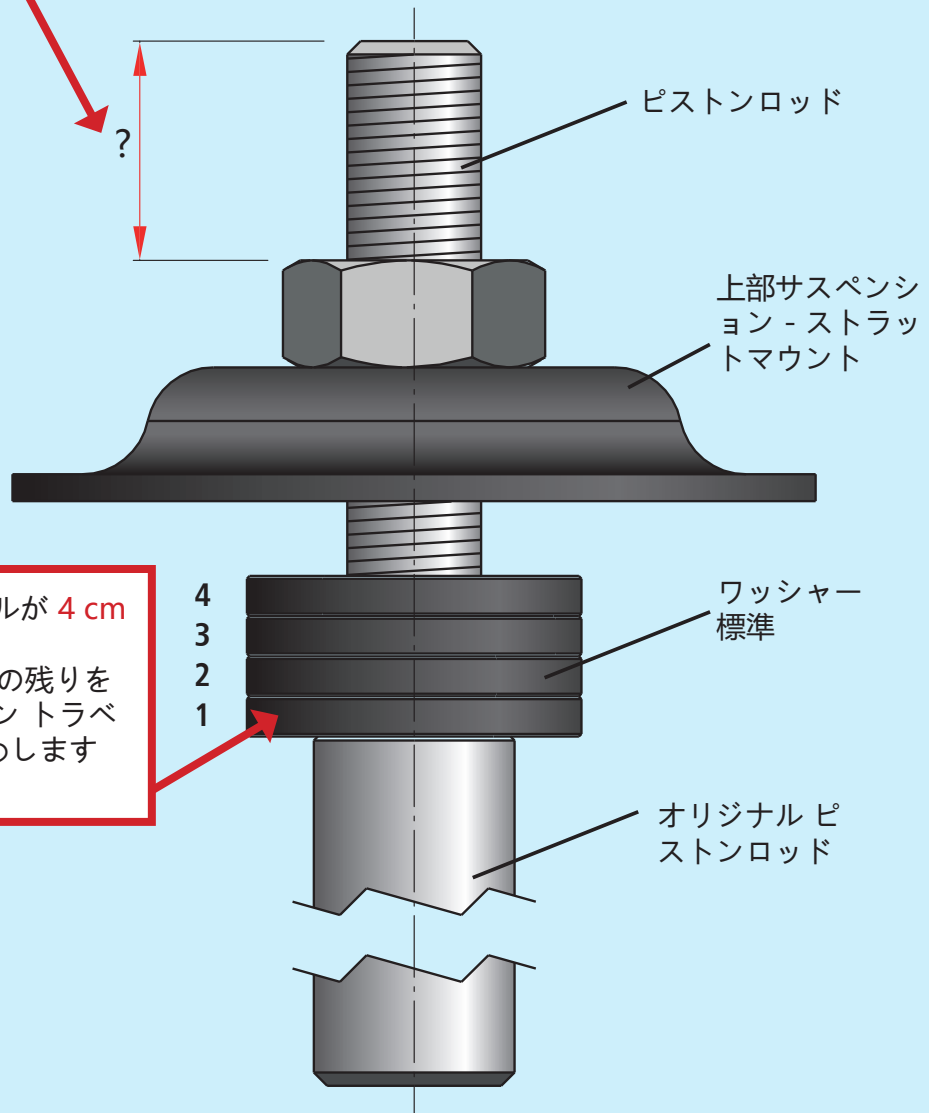
反対側の例では、車両のサスペンションを最大 6.0 cm 持ち上げることができます。

	1	2	3	4
SPACCR® (1.2 cm)	1.2 cm	2.4 cm	3.6 cm	4.8 cm
SPACCR® (1.2 cm) オプションのゴム製 ロファイル (0.3 cm) 付き	1.5 cm	3.0 cm	4.5 cm	6.0 cm

サスペンションのリフト後も、残りのサスペンション トラベルは **4 CM** 以上必ず必要となります

サスペンション トラベルの最適化

ショックアブソーバーのネジを緩める前に、ネジが上向きにどれだけ緩められるのかを測ります。または、この緩められる分だけワッシャーを取り付けることも可能です。こうすることで、残りのサスペンション トラベルを増やせます（運転中の快適性が向上）



残りのサスペンション トラベルが **4 cm** に満たない場合、ワッシャーを取り付けてネジの残りを活用し、残りのサスペンション トラベルを最適化することをお勧めします（裏面を参照）。

サスペンション トップキャップ ワッシャーを使用して、残りのサスペンション トラベルを増やすことができます。

ワッシャーをピストンロッドと上部サスペンション - ストラットマウントの間に取り付けます。こうすることで、残りのサスペンション トラベルが増加し、運転時の快適性が向上します。

それでもサスペンション トラベルが不十分な場合に備えて、www.spaccer.com から注文できる、オプションのピストンロッド エクステンションを用意しています。